

洋帳簿 各種與\*專門 三監照三人九 三監第三人九

では、他一のがは、キンの判し際だけな、他一とは大盛ひに優勢を たのであるが、それに成して樹実 たのであるが、それに成して樹実 だけは、他一とは大盛ひに優勢を がけば、他一とは大盛ひに優勢を がけば、他一とは大盛ひに優勢を 一部へに水酸されてしまった。 オーカーのがは、ホンの刺し間だけ 金華堂へ

政策組合和

長春座

112 相2 の 良人 「関連出土部連列多千主演 が人向を映画で記り がの持つ味る可成り出て あると

日版版 北岸製版账

2636

一無本は、単数してしまった!」 といったが、事質は駆してその語とに、一たん紋館から支那気のしょに、一たん紋館から支那気のしょに、一たん紋館から支那気のとす、財態所では、一般の段職ペレアけた後、彼だけは、そのましい

は多少に不拘飾措践に選正確。収扱機器。但

金 性 維 及 北 し 収 動 乗 付 よ 酸 込 分 引 ー 材・ よ 酸 込 数 付 は 速 す は 速 新京公司 は三〇八七番

まるで働を見るやうな影和さであ も、彼に献しては打つて魅って。」

れた時にも、たつたな、他一にい

それといふのは、他一の方に、でなかりがあった、めで、元素・人に問題派に住んでゐて、かたな文が系の象徴も、その撮影し、その撮影し、まつたく好動と気はねばならない手窓があつたのだ。 こうには、こうには、こうには、一般の大きながあったのだ。

て、そんなに素和であったその

5 2

収扱感は信用厚く 明治生 御申込は



襖專門 権が枝町四丁目十四番地

の重機接大楽

カリの別で、別に何の職家(ありの中で、組めて重連れになったば、根ので重連れになったば、の中で、組めて重連れになったば、

時には、まつたく、どうしてかと歌歌したが、いより、歌いてられて来る余中、彼

いは世中れ

を は、そんなに致和でもつたその と は、 を は、 を は り 県 駅が がいてる と に に は、 を は り 県 駅が がいてる と に に 脱して り、 脱 感、 端 り 下 と で は、 ま の 速 れ の 現 と が し で も の 速 ・ と で は、 ま の 速 れ の 男 と 。 と と こ と で ま こ と で は 、 ま の 速 れ の 男 と 。 と

七二/三町笠三 (新達条三条)

北鲜経由魚品~!! 大阪~!!

新宗

北日本汽车

中於爾巴小京東北巨政体一

地番八目丁一町柴永京新 半長

下さい!! 御下命の折りは電話二〇六〇番を御呼出し 食道樂 道樂一門 を語言の六の番

吉屋原子女

電話番號變更御通知

印醬油釀造元 滿洲醬 油合

新京富士町三丁目 安會司

四十八組共通番號

V

醬油當選廣告 破序師上検 師聞記者御立今の 上級正に奉行結果左記る號當號を決定致し候に顧の程序く御禮申上終抽號券材本管出之が抽職は豫定の如く一月間の程序は御禮中上終抽號券材本管出之が抽職は豫定の対管行を

線を行 (荒川 芳三郎香)

銀器

八二千平方稱沙

文が兵一兵の縁だにも、動め 明本の の本がで込み、しはや本州里には であげ込み、しはや本州里には であばられる。 を助して、たこついて来たのであ

開催决定 ロンドンに 運賃値下げ運動に

で焼きかであった。「変形光板すに が焼きがであった。「変形光板すに したいよ其他の は、権ち合せの金――大野元、

ガ

そでもそれは、彼の手配

かな、無数の効動は、

一部乗りのが役に超く 一部乗りのが役に超く でであった。 であった。 であった。 であった。 であった。 であった。 でであった。 であった。 多級の人、氏家佛一の役方は、

金町四ノ七、三井洋で白銀

中央楽店 中央楽店 

世三日 針切 毎日 晝夜 松竹下如美物作。脚心験皆 を馬乗三原作。脚心験皆 を料離次部の愛孫 林 紋 夫 入社林 - 回丰演映画 自光端血浸史

同期間別換場所

日州町電ご三人七巻城浦社 

市込みは機関三日〇〇よ

F 京主 不

## 執政登極定決の報に

君臣融和の美を威嘆 支那民衆に映じた満洲國帝制 同國の人心安定及び秩序線

るが、今日の線別紙も其の命を受けたのもものも如く事實を受けたのもものも如く事實 日本間は之を機會に識別成の 日本間は之を機會に識別成の 領域を長城以南又は察哈爾方 面に擴張せんさするものであ るさ云ふ支那側の擬脈に就て は日本官窓は之を一笑に附し は以際の混沌たる状態に続ひ は以際の混沌たる状態に続ひ で、その領域を明確にし、長

機上より 数萬枚の慶祝

悠々さ飛翔し、用窓した五色 低質に開光を一杯に浴び乍ら 低大き飛翔し、用窓した五色 ピラを撒布

大會を傾き、随着に臨む態度 女天下に表明し、意政を擁護 女天下に表明し、意政を擁護 査は切られること」なったの は世三日間中、 弦に政戦の 火

對議會準備

以下五百名参集、望月氏を外原、山本等顧問總務幹事の気度、山本等顧問總務幹事の気を開催、鈴木、床

(東京國通) 政友會では調金

以前に脳連の振徒に一撃を 以前に脳連の振徒に一撃を 立し得たが。日本が議州間 を対針を明かにせる事は蔣 立に間し何等妥協を認めざ を方針を明かにせる事は蔣 がでは、日本が議州間

帝制實施をごう見るか

各紙の論調ー

抦氣を理由 出し

荒木陸相辭表提出

後任は林銑十郎大將に决定

務をみるを得ぬを理由に柳川次官をし、東京特電)荒木陸相は病氣のため國

合の食思無き事を明かに洲國の帝制實施は日本が

政民兩黨と あす休會開け議 に祝賀すべく、陸軍では過ぎ し進め、例年に比し一層盛 記念日を日瀬爾國國民一倍

**後任には教育總監林銃十郎大將を決定** 

て辟表を齋藤首相の手許に提出した、

要する議別事件に属する一時費金さして交替する金債を は、事件の最初に出動し録々たる武動を樹て昨年凱旋せ は、事件の最初に出動し録々たる武動を樹て昨年凱旋せ に發表する豫定で、右は大体陸 事態に終ける問査を完了 に發表する豫定で、右は大体陸 事態に終ける問査を完了 したので本月中に質動局に提出する程である。向け賞に は、事件の最初に出動し録々たる武動を樹て昨年凱旋せ

かさ感して塔た所でありまかき感じの情を告白して

多門中將以下

事變行賞近く發表

型古氏族を代表して享びを 氏は海峡町の県帝即位に 動

外交部總長謹話

即位の結果に付何等危債機能でかとに伝るに中華民間は右に非さることを述べて苦りま

いったもので思ひますが を思ひますが使来幾多の外間 を思ひますが使来幾多の外間 がは、一般に人参いこと

に養すの激は奪よ族く関かれ

帝制實施

を寄ぐ

あらせられたので、 参 もれ金く御中幣に御吹 もれ金く御中幣に御吹

**瞬の入場券に** 

除外例を設く

日満軍警その他に

## 贖職事件暴露が 米自動車商會店員の横領から 國道局

意外の方面に飛火

京都驛慘事に鑑み

満鐵でも嚴戒

明磁磁道部では二十日附けでした過程の京都課事件に組み 御床拂ひ遊さる 職道、埠頭事務所に注意示達 能力以上の人員は決して入職力以上の人員を調査しておき收容。 =

地で加速型に関らしめ高一事故 ・地下消及び防衛からネー ・地下消及び防衛からネー

現には注意して観

補洲國要人夫人達が

5れたが新川野便局における 東天開日本野便島内で開始せ 東天開日本野便島内で開始せ の変は愈本月十九日より野京 の変は愈本月十九日より野京 の変は愈本月十九日より野京 の変は愈本月十九日より野京 の変は愈本月十九日より野京 の変は愈本月十九日より野京 の変は愈本月十九日より野京 のであった ののであった ののでのであった ののでので ののでので ののでので ののでので ののでので ののでので ののでので のので のので

「傷間間通」八才で十九頁、 の御母撲になるのださ、その

力み方は大型なものでわち

新京郵便局の第一日

滿鐵廿五年勤續者

本年から金杯・

新記錄

小女二三名募集 +四歲よ0十八歲まで優遇

雅吉《米良鼎《新川幸利》 上文賞公《祖園忠》《久道 上文賞公《祖園忠》《久道 大郎《韓田獨市《林愛吉》 大郎《韓田獨市《林愛吉》

全日本スキー

| 図華ホテル

找傷病兵慰問

心からなる日満親善に

同いたく威激

「東・國『」 泉后陛下

呈后陛下

ないこさないこさ 踏切道。東路を横断させ れたい

イ、放け会々是 口、新聞倫信記者。

抵負なごに制限される

から、中川により間長が貼 派遣して連絡をさつて二十一 も代集者二名を挙天。大連へ 無京光雅業組合では裁判の道 日午後七時三十分解京したが

技師出入の記者及び宣真

洗濯組合

**感道部石原課長** 

火一その他詳細は不明である。開刊中であるが引返しつてあり原因

航空小包郵便

本人分会長並びに町内會長 その他責任者ある統領機関 當分靜觀

代表者ヲ解任シ取締役エー、ケー、ブラウ當會社取締役代表者五泉賢三ハ當會社ノ 代表者ニ選任セラレ候爾今當

ー、ブラウン及支人配ピー、デェー、デンキー又新京支店ニ於テハ代表者エー、ケ ユーナイテッドモー 単天子田通三十九番地 昭和九年一月十八日 ウン及支配人アイ、アイ、コヴレフス 奉天本店ニ於テハ代表者エー、ケー、 大提出スル納入見積書及代金受領書 ガ署名致スヘク此段及謹告侯也 五五夕 ター・ブラウン 発 一 アラウン

香 皇帝御 紋章 \* 花

現の腹びを指して腕右提出「かれるこさになつたのは、満角を配し」流針視音画響「神教教学展開の単位に開

一自家一 戦成をして

丁士源公使慶びを

清朝誠忠の臣

師術内で自社業務並びに

NI八場階をもつてこれを 次の者は別に規定された

「佐世保護者」第二連水戦略 七時頃休暇上陸中の乗組兵が 大概・一種水戦は世日午後 乘組兵三名爾死

大気分は数助されたが、ペニ大気分は数して数助に努めた結果から一斉に裸照壁を服し数助から一斉に裸照壁を服し数助から一斉に裸照壁を服し数助がした。 (四周道) 二十1日午の 郵船日光丸 は唯に溺死に一名は行衛

ハル電燈廠

大會第一日目 (札幌園迪)第七回全日本學年スキー大會第二日日の世一日は午前九時五十分より札幌市邪外のシャンフェに於て行はれたが、早大の韓田選手はまたが、早大の韓田選手はまたが、早大の韓田選手はまたが、早大の韓田選手は

害の迫る恐れあるので二月二十三日夜暗に紛れ、北京城正 陽門外の東車站より身は皇帝 にあり乍ら したテテヘルは艦艇は其後出

春幽房榴装十日日勝 八東京観通 副核伯に於ける

古城を包閣し「宣統会 ・ は内にあるは共和教体 り」さなし記す。

『オ、左側である。例形の部屋へ

美妓、好感、サービス満點の

野野

年御宴會は!!

御目出度う

断然お

井蒲

織れ、 競はすであらう」

コハエー・ 強動といふとアノなぎ

の蛇脈でしたのが、急に眼になっ

八一人時けると配って、百服だけ

直扱の運搬は

高話三八七八巻へ!!

テ御注文ニ應ジマス 各種其他一式、破格・

を がの本意ちゃれえんですがね」 を がの本意ちゃれえんですがね」 を がいって首を下げる。 手を でしっ、百金だけ都合して記は さう。だが今と言っては、激人の かったが、と言っては、激人の

內 運 搬荷 荷造搬 選 送

九正運送店

Ξ

泵

製

東

紅

市内各食料雑貨店にあり



「おどの事で問題ひを住し、江戸 居られぬとは、如何の水気であ

と、裏の肚子を開け、四方を緩つ るやす月代が不景気になりやして 「實は湯島の天神境内の、お纏の 要態板の三五郎は、近間になっ といふのが、あの三紀先の三 と、配を送ってお願ひによったや が、外に向うしても工蔵のかし起 思つて如何なる事を致したか。 つた。其方が見として、はつか イヤ三吉野の気に、月代が帯しく れは聞かんでも可い。して美がは 年兵衛も願いて、

是より何れへいる

田三

おんな草ですが、既郷を始め御心 かるめな草ですが、既郷を始め御心 が と 取られて丁つて、大蛇 いながれ方できず。其中にも、椒 は

新京日日新聞社

識

眼

新利

京

通

六

心。秘藥

責任を以つて推獎出來る

セメントと石炭の着色劑

を中ぜんさす注意 我意を擅にして

はは明神岩城セメン

トカラー

容器一封度、五封度鑵入

理京

電路四七九〇番

公司

爾工省部可 資本金五千萬國

日本毛織株式 會社製

イロ (通青運輸公司) 物扱所(社3二二四番)にさ

一番地

れても宜敷うム! 荷申込は小荷物型

辯護士

宜を計る爲左配取

葉書にて左記に申込み下に取扱い致しますから御及配達

即來診の方にのみ治療致します 野師 堂 脇 「 四田材木店の田材木店 **押家具** 卸及小賣 式、破格ノ御値段ニナッタンス、茶ダンス 福田支店

露 披 御 青樓あ ふじ町に 福と呼ぶ キャレタルダンスホー b 玉富戀八 家 子子香子 四 まつるな 序を傾けを 持つだるばなへ 石のおこしを

の対散策の御疲勞に: ケーキ各種 迅 江戸前のおしるこ

田 商店 朝日堂喫茶店

代類店京 昭和毛布合理販賣 昭和毛織工業社 **電話三八二五音** 

滿州國電氣指定商會 電話三三五〇番 乳牛は 素の康健 今 一 二〇八八茶

内外線電氣互事並二動力据付 沼田勇法律事務所 昭公司電氣部 新京中央通り十三番地 電話二一四七番

健康の要素の 凡てを含有するは 牛乳の他にはあ りません 牛乳の御用は 皆様の 三宅收集 話

本権が関いてある。

春 単立國に向つて参武を進め、 は 新《で補酬國の蓋案開發は、 は 新《で補酬國の蓋案開發は、 は 新《で補酬國の蓋案開發は、

見よ潑剌たる

満洲國の建設全貌

(東京國通) 昭和七八商华度 農村問題を繞り 政府議會で論難せん

八百四十高版を有

黄布。渤田及各河

保されて貼り、電大化する形本問題の見れる重要問題が日本問題の配料問題、農業土工業系問題の配料問題、農業土

問題を議會提出

日滿兩民衆 互に手を握

天業恢弘を翼賛せよ

陸相

の就任

原門

醫院

小島飲節

對滿關係より好轉

林大將は决斷力に富んだ人

關東軍での觀測

駐滿部隊交替

質問順で

始め一九三五年の意大時機器がそ中心に認助表の増加

難色

杉原本部隊派遣さる

もつて小山院内主任機器から で、数女者の床次氏の次には で、数女者の床次氏の次には

ました基本子殿下の御護电を 入さる次系であります。世界 は即年来、多年の念願であります。ここを料しまして、東方の所は固より、長々九千萬回胞の も執政の側即位が天真に基く は昨年来、多年の念願でありまして 反邦が館くまで天館に恵まれ ここを料しまして、東方の所 は の と に る と は の と は

臓のよき 理解者

荒木陸相の解任は誠に遺憾

遠藤總務廳長語る

**各種禮服謹製** 



かつて東京銀廉四石智儀 民律服店に動物致

伸引受期間 フロックコ 大禮服其他禮服の御手入は取 志ぎ御下命願度く充分の御手 二月二十五日迄仕上御納品致します 二月十日 甲込 一時にならざる様是非至急都 願申上げます 即御 迄!! 有する者にして 御大典に際し意義ある皆々様 御胸度品御經製申上し光榮 3 第 店 主員 するを

時局兵備改善

大路は朝鮮軍即令官さして 大路は朝鮮軍即令官さして 大路は朝鮮軍即令官さして 大路は朝鮮軍即令官さして

を任された事もあり。 語を古くから規解して限ら れることは非常に喜ばしい 大事である

〈黛否認の

積の今議會

事項實際補管學校器師常務を事務員 中 村 仁

調

重大案件山

ける懲よ議會再盟

空氣漸く緩和

政民兩當

黑政黨確立論

當なる時期に

今日青 は二十二個の一す

財政重大聲明

一年度に増税断

軍制調査會を設け

諸制度施設の改革審議

る関係を体するものさして住 目まれるが、主要表現は太髄 次の都含ものさみられてある 和十年度かる平年度に食す る方針であるが事業を中今 を行針であるが事業を中今

1. 協洲國並に新國際情勢に

一・装備の改者

笛ロシャ時代の

中等學校卒業生を

m鐵で募集

校種別並びに人員 宅を募集する

| 「 | 大八日 新京に到着、十九日新 | 6ず前配事項を設守すること | 外例を除いて旅客の多少に拘 | 外例を除いて旅客の多少に拘

第二次農業移民

地域愈よ决定さる

敦化、額穆兩縣六ケ所に亘り

分析京設列車で赴任の豫定で 少佐は二十六日午前八時四十 今析京配列車で赴任の豫定で

瀬氏に二十日付で巡兵部長に 昇進 巡査部長に昇進

解氷期と共に1

菅野氏の

## 日系官吏 關係者を近く召喚

(=)

和京署の取調べす<sup>い</sup>む

列車に衝突す

別國電局に嘆願する事に决定 富濃スポールウイフテを代表 富濃スポールウイフテを代表

出廻期に於ける 貨物輸送計畫

大頭目青山

二四組を競争に耐比して

反滿抗日司令

新京鐵道事務所管內

ドの

鳴りを鎖めてるた

共産軍の活動

中央軍の側面を破り尤溪占領

二十五日

至同四時

及間俱樂部

至正的九時

超區中梅爾保

奉天へ赴任

大夫物一刺五分端則一刺五分幾 大夫物一刺五分端則一刺五分幾 最近發賣された新京小眼を筆 最に大阪音問東京音解さいよ 風に地方的小眼音調が多く費 が交換花節は木村友欄さか。

電線の出租未だ見るべきもの して稍増加を見るべく又京副 線方面に終ては期待されし拉 線方面に終ては期待されし拉

全市民残らず

種痘を實施しませう

第一日の成績は頗る良好

兩人も相當多い

出生は内地人五二六人朝鮮 人三四人識別人二、五〇三 人間数三〇六三人で飼月に 比し五二七名を増加し又一 月以降の累計二七。九七六 人は龍年さ比較して四九三 人の増加を見てるる而して 出生機数を男女別にすれば 男一、六一七人、女一。四 四七人で女百人に付き男一 一一人の別 合 である。死 亡は内地人二八八人朝鮮 賣行きは

さ流行明三割浪花節二割タヤの襲行は何んさ云つても流口の襲行は何んさ云つても流口の襲行は何んさ云つても流口の関行は何んさ云つても流口 小唄ものが筆頭

同 祝 町 横守春 三等 入船町 山口一夫 **同 製都建設局 腐部膜一** 脫獄犯人

豫防種痘

二十六日

四平街

至同 四 時

編共榮大街 貸物課新市

由美さん二十一日午前八時代題町二丁目八番地林田薫

滅出所

捕はる

奉天の天

一十四日から 「四平街支局種」落版來議園 を選手やの天然痘は新次四平街 に接近せんま翻原。及新京に その患者観生を見せてある。 の本街では之れが應念強防さ して來る二十四日よりな配日 割場所に使つて電防種痘を施 一十四日

▲人船町四丁目二十三香地本 久井韻子さん二十一日午前 在時四二丁目大香地小田桐 田子さん二十一日午前

なく現在は西井雪が一人で人 なく現在は西井雪が一人で人 なく現在は西井雪が一人で人 「福州二十二日平 國 週)十九路軍敗退前協定を実切つて何等協力しなかつた福建西部の共産軍は突如活動を開始し、進出せる中央軍の側面を攻撃市断するの目的を以て約四ヶ市断するの目的を以て1十日沙縣を占債、額いて尤溪を占債した。

大雪崩

新患者が輸出してゐるが、本 (奉天國通) 奉天に於ける天 然痘は企々猛威を振ひ、日々

周地に於ける天然智患者数は 原地に於ける天然智患者数は では、目下のさころ明 のが最生した、目下のさころ明 1980二十一日より左記の如く 四兆曜路局線では貨物輸送の 四洗線の 貨車復活運轉

が京権入租合聯合議末大寮出 しの衆籔にて其後利明したる

一等 調節ホテル 松本フ

袖贯 园 园 人

大典學行費

昨日の國務院會議

當籤者

大賣出しの

景間八〇三列車洗耐、信號 列車、郷家屯、洗陶。信號 列車、郷家屯・湖南。信號 所四年街山八一〇列車 > 

ト左膳來る



大計組れ計人

大同學院の

奉天鐵道事務所

電路間長 漢葉柳作氏は大岡軍 遠藤院長 放送

本天線道事務所無勝長岡本航 会にはかねて病気中のをころ 二十二日午前四時つびに磐石 かなく近去した、な煙準機は がなく近去した。な煙準機は

日活全發聲映 二十二日より新京キネマ

本の経済を表現のでは、1000年の 1000年の 100

映

「四平街支助費」大尾四平街 大荷主等招待

大尾驒長

大 気 さ 気 温 サムの天気は扇西の風暗? き のよの気温は最高響下大きご 介養低零下二十六度七会

帝制を喜びながら 趙欣伯博士語る

以降の果計一七、五三九人を簡単に比較するさ三、一五四人さ云本敵減を見て居る而して之れを男女別にすれば男八八二人女七大二人で女百に付き男一一五人知の割合になつてゐる。更に出生の死亡を超過する人口

は芝馬輪南町の無別・窓法嗣(東京副通)憲法制度确令の かれてしせつて清朝時代故 とり建場三縄年の佳日に際 し、新に帝嗣を布き淳戦政 がこしに皇帝に即かるし事 は我瀾洲國人さしてこの上 なき事びじある新県帝に於

然増加は一月以降の

郷でめる場別園に贈られて は場別園ご干蔵民派に皇帝さ して君臨さる事は限りなき お寫びご拜される次編である新皇帝は含て「満洲園ご 日本さは切り種し得ないも のである従つて真の愛國心 は場別園ご日本ごを結びつ は場別園ご日本ごを結びつ

至正 年前九時 四平街署 日午前一中肺炎で逝去した。本職家山田敬中氏は昨二十一

山田敬中氏逝去

北平への遠征の途に就いたルテケー選手一行は二十二日ルンジを大津、華天、天津

十二分に交数千後八時進ぎ勘・安に先ちて即その挨拶に産業 ホッケー選手

七十級名を招待単

萬寶山農場

朝鮮人民會で經營に决定

||金民會長語る|

「(東京講通) 今同三井物産安川雄之助常務以時役駐任に伴り三井系各會社の重役居には明確之助常務以時役駐任に伴り三井系各會社の重役居には明本のある、即ち日下郷可申請中のある、即ち日下郷可申請中のある。即ち日下郷可申請中の

改組廣汎に

八時三二分 八時四五分

東京上の) 東京上の) 東京上の) 東京上の)

い語か用ひられてゐる。

向い共に参載せんこさを希望 ・ ではいて大きの大理想に ・ を翻いて大きの大理想に ・ を記するも支那に對しては

目指す

(三)

することが茶しいきあついの酸は圖客館の蔵書も

一、権位ラ受クへキ者 一、統在三個年以内 二種位シュー、統在三個年以内 二種位ショ 但シ生後九十日未満ノ君ラ公 一、統在三個年以内 二種位ショ 十二、種位日割 自一年報 自一年報 自一年報 日子報

二十九日同

生洋

二十九日同

1+111中同

間上見

园上從菜

**燃機器同仁醫院** 

診療(評賣助時)日際祭日午前中

旅行區域

根部受種症以及檢索)但 生過疗瘡 九點半 起発三點之間を所定場所 終二月二十二日起應行應時稅痘 高 山 新 京 警 聚 署 長

基崎カーカン をのヨーカン

春春

ラ

二十二日(火曜日)新四年後五味(〇分・子供のは 充時四〇g 田田川〇日

作告事效例即防湿瘤思見定於二月二十二日國應行民住者一体須於該日早九點申 起晚三點之間。 管內民住者一体須於該日早九點申 起晚三點之間。 每不在此內 明和九年一月十九日 繼接受職時稅還人 一、曾未接受稅痘者 但除出極末過九十日

中央通廿 三端鮮ピル二階 (意兵隊本部隣)

李士內田清三郎電話取次四九五八番電話取次四九五八番電話取次四九五八番

診療時間

大學二〇分

大時四〇全

五時五〇分

和洋百貨 洋 泰三 **=** as



叮

各種印章

層品

\*

香五三四三号

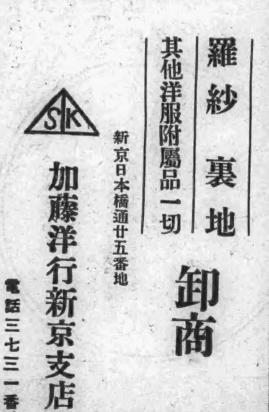
味堂印章部

山崎齒科 中央通西公園前 時 間











唸を生じて大評判 不况を外に大發展 優かば焼トどんぶり 三笠叮二丁目 靑

『場所ニ於テ種洞(定明任前談書者ハ種信及協冠)テ受タへ行文管の居住者の書日午自九時三十分 ■リ午後三時記刊活演像砂ノタメ県ル一月二十二日=リ东配ノ通臨時種短テ京等製者告示第一號

荒

章

及後ヲ受ケラルへシ

昭和九年一月十九日

此ノ限ニ在ス

高山新京

電話二九四二条

モーニングプロッ 一大盛儀

を は 豊富入荷 物一根次系元本株の 神上地 豊富入荷 物一根次系元本株の 神上を順きに上のます 田 7 店

は 室 町

氏でなみつけてやらう

行かないと、きつと心明いて歌

除うやら古谷らしかった。

の方から眺をかけなかつた。

ると、松の歌の彼万へと身を除る

その尼晋の中に一種院しい取る 白刃

心の針へ打込んだ別をはづして

てたの い数値の書がして飛んで似た弾丸

一般面の武士は、無言であつ 歌歌が一つ回いたと見 手首をやられた後面の武士と

間のいた。

動之丞はついと有様へ飛んだが

が、顔を打つた観は他打ちであつ とて、その別容は、あのと既を立

何かなは、結疾患者にとつて動かってあるからです。これが結疾。 たた脚が疾患者にとつて、どんな に、脚が疾患者にとつて、どんな に、対域であるかといる事は、時間 にないるがらです。これが結疾。 にないるがとがしましま にないるがといる事は、時間 にないるがといる事は、時間 にないるがといる事は、時間 身體を心から温める一

といよのは、いかに多くの含水を洗水が、といよのは、いかに多くの含水が、脂肪がを取入れたと、水や、ダイタミンが無くては、何く

意味なのです。

に、一日前に様を北の万へ諸出し

歌之がは強うとはしなかつた月 に端ざかって行く意い二つの影

肺結核から甦生

から離れた髪の動みで







我が龍角散は、この病

脱と變虚への防止効

思って呼視する人の

◇石井漢氏曰ぐ

世間では何咳ぐらゐがと

20

恐るべき痰咳喘息を

3.

炎助膜炎或ひは肺器核等に要症い

たします。

たいけても直ぐ管重が減り、肺臓に刺戦を與へ

咳は我慢し







結核のこからし療養

寒氣はむしろ療養に好適 ー日光の不足はかうして補よ-

こからしの季節といへは、戦物 「他元の略とされてあますが、総数 「一元」と思ふのは常然です。 「大きのでない歌は、紀安の 「大きのでない歌は、紀での歌は、一つ 「大きのでない歌は、紀での歌は、一つ 「大きのでない歌は、紀での歌は、一つ 「大きのでない歌は、名ででない歌は、一つ 「大きのでない歌は、紀での歌は、一つ 「大きのでない歌は、名ででない歌は、一つ 「大きのでない歌は、日本での一葉の 「大きのでない歌は、日本ででる 「大きのでない歌は、日本での一葉の 「大きのでない歌は、日本ででる 「大きのでない歌は、日本ででる 「大きのでない歌は、日本ででる 「大きのでない歌は、日本ででる 「大きのでない歌は、日本ででる 「大きのでない歌は、日本ででる 「大きのでない歌は、日本ででる 「大きのでない歌は、日本ででる 「大きのでない歌は、日本では、「大きのでない歌は、「大きのでない歌は、「大きのででる 「大きのでない歌は、日本では、日本では、「大きのでは、「大きのでないでないでも 「大きのでないで、日本では、「大きのでは、「大きのでは、「大きのでは、「大きのでないで、「大きのでないで、「大きのでないで、「大きのでないで、「大きのでで、「大きのでないで、「大きの

法療ゼーバリの技能 をする。 を都とおり

のす権権あるが



. 全國各栗店にあり

成 B 医 2 2 -

整藤井得三郎商店 第■東京九二巻 東京市韓田區豐島町 龍角散の遊應容態書

であるくにて常にゴホンゴボンと似む人がある。 が成れて常にガなきせき出づる人がある。 が成れて常にがなきせき出づる人がある。 たん臭氣を帶び時が血の変る人が たん臭氣を帶び時が血の変る人が たん臭氣を帶び時が血の変る人が たん臭氣を帶び時が血の変る人が たん臭氣を響び時が血の変る人が たんりと気がある。 BB

日本 保

評に鑑みて御知らせ即の定 多いのは勘だ危險です。 果を完全に具備した谷 上にも、保御上常に誤の髪を陶僧して 無職は破場です。ですから既は此の販売常 です。事態上酸酸などの繋があつたら最後 形版なく、既の方の舞踊歌 けで、それが関が 舞踊殿の保徴に像効を葵 舞踊家が戦を慣れることは、黙繁家以 ことを認んで を料るて

しておきます。

治療 3

變症防止

曖をすれば續いて幾人でもそれに習ふといふ程です。 我が國では痰咳患者が非常に多く、集館の席上などでで**人** 

A 903